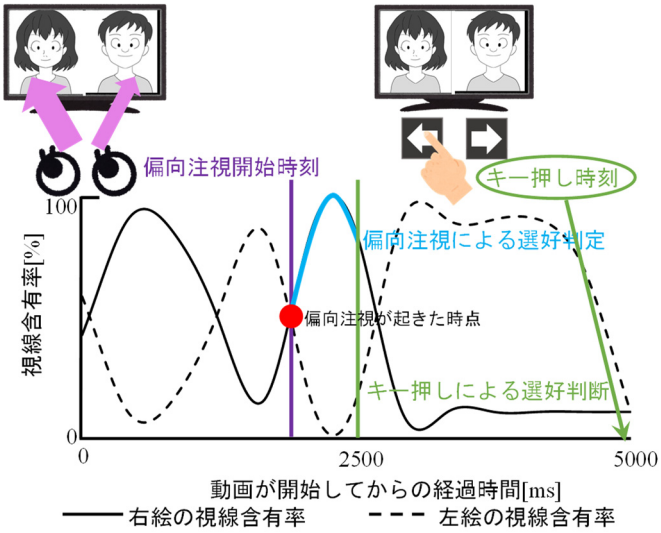
無意識の選好を予測する

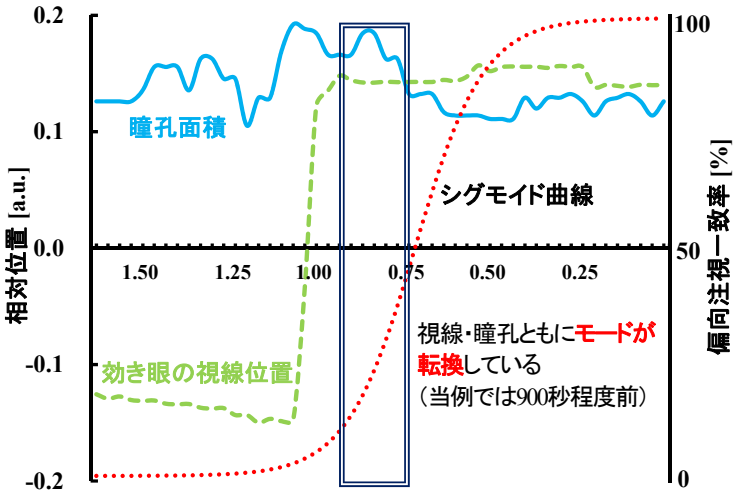
自律神経と眼球運動の統合エージェントベースモデル

広島市立大学 大学院 情報科学研究科 システム工学専攻
インタフェースデザイン講座 髙橋 雄三

日常よくある強制二択式選好判断

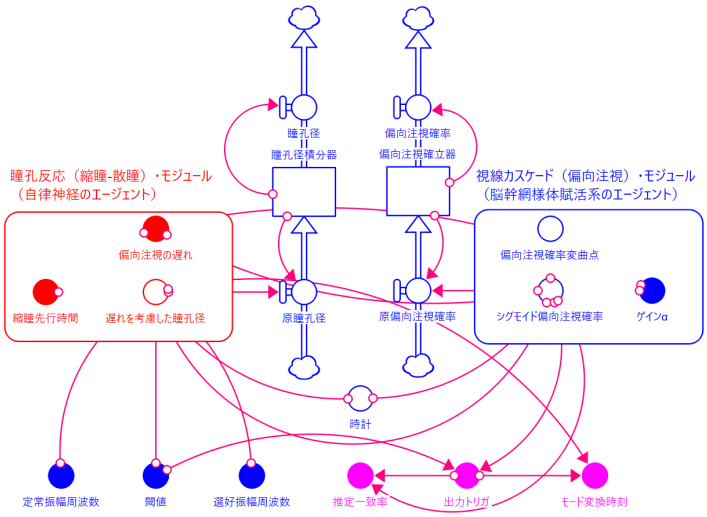


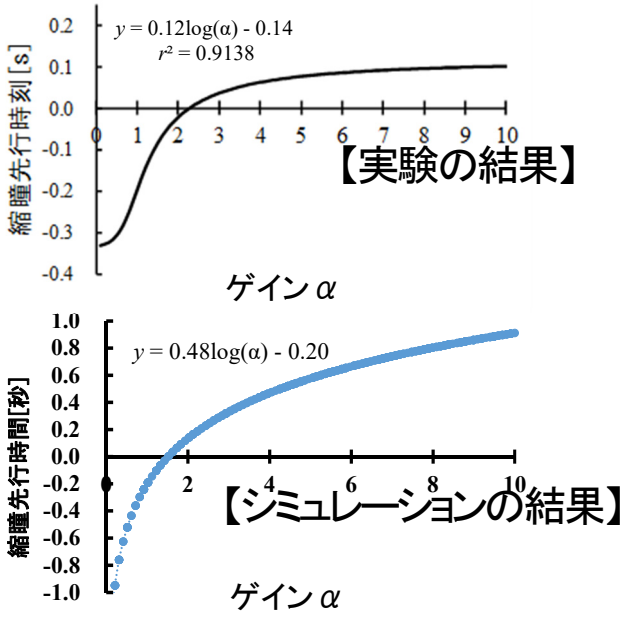
選好判断の約1秒前には判断の結果は決まってる



ヒトは興味のあるものに自然と眼を向けます．この反応は注意を司る**脳幹網様体賦活系（偏向注視）**といった脳の原始的な働きだけでなく，**自律神経の調節（瞳孔反応）**も深く関係しています．

右上の図をもとに脳の働きと自律神経の働きをモデル化しました



瞳孔反応と偏向注視を2つのエージェントに分けて検討 ⇒ モデルの精緻化が必要

ゲインαの役割は心理的視覚刺激の強さを表す可能性